

3

自然^や文化^と 身近^{にふれあえる} まちづくり

I 環境の現況

森林や農地や水辺の保全は、地域住民の皆さまが大きな役割を果たしていますが、担い手の高齢化や後継者不足などにより、森林や農地の荒廃が進んでいます。

そのため、市では森林施業や営農活動等はもとより地域の生活環境整備等へも支援をしています。

また、本市には、緑豊かな山々や瀬戸内海国立公園など恵まれた自然環境、歴史が刻まれた史跡や文化財などが多数存在し、身近に自然や文化とふれあえる市民の憩いの場として利用されています。

これらの自然や文化資源の保全活動を行う多くの市民、団体に対し、さまざまな支援をする一方、市においても、都市農村交流事業や豊鹿里パークでの農業体験、動物園や公民館等で自然や動物とのふれあいの機会を提供しています。

1. 環境関連ボランティア活動の推進

環境保全活動について、多くの市民、団体がボランティアとして活動されています。

市では、「周南市市民活動グループバンク」「周南市ボランティア人材バンク」を設置し、登録団体等の活動や利用者の情報取得を支援しています。

■環境関連登録数 (平成27年3月末現在)

市民活動グループバンク登録数	81 団体
ボランティア人材バンク登録数	2 人

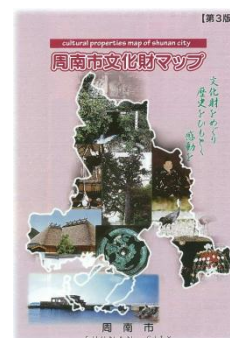
周南市ボランティア人材バンク <http://www.city.shunan.lg.jp/hp/shiencent/shimin/humanbank.php>

周南市市民活動グループバンク <http://www.city.shunan.lg.jp/hp/shiencent/shimin/activitybank.php>

2. 文化財（国指定、県指定、市指定、登録有形文化財）の状況

市内には、国指定の文化財が 5、県指定の文化財が 16、市指定の文化財が 68、国の登録有形文化財が 15 あります。

「周南市文化財マップ」では、地図や写真、簡単な解説を載せ、市内の指定文化財についてわかりやすく紹介しています。



【周南市文化財マップ】

■文化財の指定状況

(平成 27 年 3 月末現在)

名 称	文化財数	文化財の名称
国指定	5	①大玉スギ ②絹本著色陶弘護像 ③山口県竹島古墳出土品 ④三作神楽 ⑤八代のツルおよびその渡来地
県指定	16	①山田家本屋 ②式内踊 ③長穂念仏踊 ④金造菩薩形坐像 ⑤若山城跡 ⑥金梨子地菊桐紋散雲蒔絵 鞍・鐙 ⑦勝栄寺土塁及び旧境内 ⑧諫鼓踊 ⑨花笠踊 ⑩安田の糸あやつり人形芝居 ⑪徳修館 ⑫潮音洞 ⑬秘密尾の氷見神社社叢 ⑭須万風呂ヶ原のエノキ ⑮建咲院什物 ⑯山崎八幡宮の本山神事
市指定	68	周南市生涯学習課のホームページを参照ください。 http://www.city.shunan.lg.jp/section/ed-sports/ed-shogai-bunka/bunkazai/bunka_index.html
国の登録有形文化財	15	①四熊家住宅主屋 ②四熊家住宅診療棟 ③旧日下医院本館 ④旧日下医院別館 ⑤旧日下医院正門及び塀 ⑥周南市市長公舎洋館 ⑦周南市市長公舎和館 ⑧遠石八幡宮本殿 ⑨遠石八幡宮幣殿 ⑩遠石八幡宮拝殿 ⑪遠石八幡宮祭器庫 ⑫遠石八幡宮神饌所 ⑬遠石八幡宮透塀 ⑭遠石八幡宮神門及び袖塀 ⑮遠石八幡宮手水舎

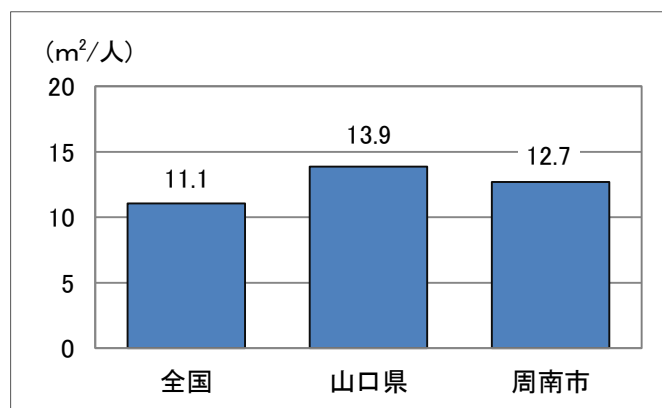
●周南市環境基本計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
指定文化財及び登録文化財数	104 件	100 件

3. 都市公園の状況

市内には、市が管理する公園が 163 公園、182.24ha あります。都市計画区域の市民一人当たりの面積は 12.7m²/人で、全国平均 11.06m²/人と比較すると高い水準にあります。

■一人当たり公園面積の水準



出典：平成 24 年度版公園緑地マニュアル

●周南市環境基本計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
都市公園の数	163 か所	165 か所

Ⅱ 基本施策の実施状況

1 自然環境の活用

目標：自然の恵みを享受しつつ、良好な自然環境の保持・再生を図ります。

(1) 森林の保全・活用

①やまぐち森林づくり県民税による保全事業の実施

山口県では、荒廃が深刻化している森林を、適正に維持・管理し、県民共有の財産として次世代に引き継いでいくため、森林の整備を目的とした独自の政策税制として、平成 17 年 4 月 1 日に「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。

この制度による周南市の平成 26 年度事業は下表のとおりです。

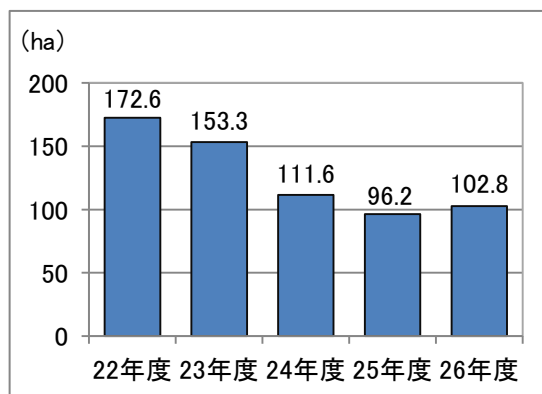
■やまぐち森林づくり県民税による保全事業（平成 26 年度）（単位：ha）

事業名	面積
公益森林整備事業	97.46
竹繁茂防止緊急対策事業	62.69
合 計	160.15

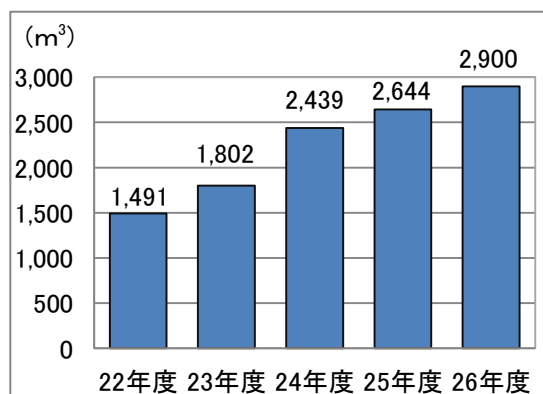
②市有林の保育施業事業の実施

市有林の健全育成のため、下刈、間伐、再造林の保育施業を平成 26 年度は 102.78ha を実施しました。搬出間伐を優先的に実施したため、施業面積は以前と比べて減少傾向にありますが、有効活用される木材は年々増加しています。

■市有林の保育施業面積



■市有林の搬出木材の利用材積



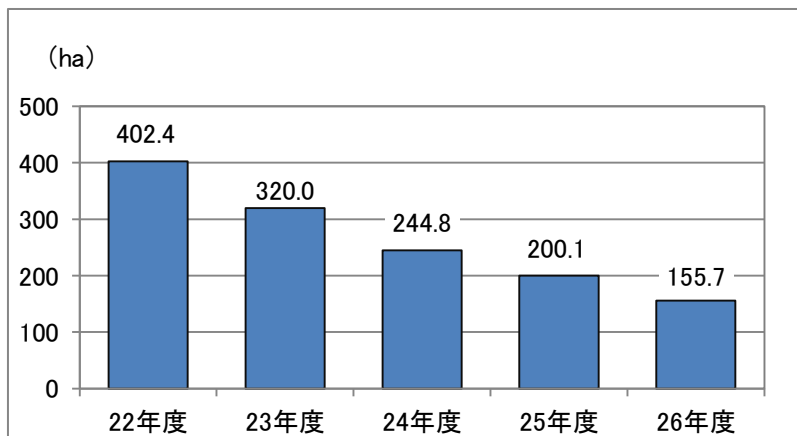
●周南市まちづくり総合計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
市有林の保育施業面積	102.78ha	300ha

③流域育成林整備事業の実施

市内の森林の荒廃に歯止めをかけるため、森林所有者が作成した森林経営計画に基づく造林事業のうち、山口県造林事業等補助金要綱に基づき、5%の上乗せ補助を交付しています。平成26年度に上乗せ補助を交付した施業面積は155.70haでした。

■流域育成林整備事業施業面積



●周南市まちづくり総合計画における目標

項 目	達成状況 (平成26年度)	目 標 (平成26年度)
流域育成林整備事業施業面積	155.7ha	800ha

④森林整備地域活動支援事業の実施

作業路網の改良活動などの日常的な活動を支援し、適切な森林整備及び保全により、森林の有する多面的機能の促進を図るため、森林所有者に事業費を支援しています。平成26年度は森林所有者からの交付金申請がありませんでした。

●周南市まちづくり総合計画における目標

項 目	達成状況 (平成26年度)	目 標 (平成26年度)
森林整備地域活動支援事業における対象森林面積	0ha	6,500ha

⑤未整備森林の施業の実施

市では市有林と荒廃した個人所有林を一体的に整備することで、間伐の促進を図る計画をたてましたが、平成 24 年度に国の計画制度が変更され、各個人が面的に一体的な整備が可能となったため、市としての平成 26 年度の整備実績はありませんでした。

●周南市まちづくり総合計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
未整備森林の施業面積	0ha	300ha

(2) 農地の保全・活用

①中山間地域直接支払交付金事業の実施

中山間地域において 5 年以上継続して農業活動を行う農業者等を対象に協定を結び交付金を支給することで、農地の保全や農業施設の維持管理を推進するとともに、中山間地域の多面的機能を発揮する活動の活性化を図るものです。

平成 26 年度は、協定数 36 件（集落協定 34 件、個別協定 2 件）対象農用地は 465ha でした。

②多面的機能支払交付金事業の実施

多面的機能支払交付金事業は、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するものです。平成 26 年度は、26 地区で協定を締結しました。今後も引き続き農地等が持つ多面的機能の保全を図り、営農環境の整備と合わせて集落環境の保全に努めていきます。

●周南市まちづくり総合計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
多面的機能支払交付金事業の 活動組織の数	26 地区	30 地区

(3) 水辺の保全・活用

①藻場・干潟保全活動への支援

水産資源の保護、培養に重要な役割を果たす、藻場・干潟に保護区の設定や耕うんなどの機能保全を行う団体に対し、国・県と連携し支援しています。

平成 26 年度は「山口県水面活性化地域協議会」と連携し、市内 1 団体を支援しました。

《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》

②大島干潟造成事業

海域環境の回復に向け、干潟の再生を図るため、国土交通省中国地方整備局において、事業で発生した土砂の有効利用により、平成17年度から平成24年度までの間に、大島地区で29.3ヘクタールの干潟造成が行われました。

●周南市環境基本計画における目標

項 目	達成状況 (平成26年度)	目 標 (平成26年度)
大島干潟造成面積	29.3ha	19ha

2 自然とのふれあいの推進

目標：身近な自然とのふれあいの場を有効に活用し、自然とふれあい、マナーの向上を目指します。

(1) ふれあいの場の整備

①瀬戸内海国立公園「太華山」の利活用

瀬戸内海国立公園に位置する太華山は、市を代表する自然の風景地で、生物の多様性や、貴重な照葉樹林等の自然植生を保全する役割も担っている重要な場所です。

多くの方に太華山の素晴らしさを理解していただくためにも、地域における保護管理体制の強化と発展が望まれています。

現在ある2つのハイキングコースは手軽に楽しんでいただけるよう、地域住民の皆さまとともに維持管理し、春や秋には、さまざまなウォーキングツアーなども実施され、市民のみならず、市外からも多くの方に訪れていただいています。

平成23年度には、太華山自然保護協議会が設立されました。この協議会は、太華山を「地域のシンボルとして自然と環境を守り育ていくため、健全な利用を促進し、絆を深める地域づくりを推進する。また、各地から多くの人々が集う場の創造を目指す。」ことを目的として設立され、協議会をとおして地元団体と行政が連携して自然と環境を守り育てゆく活動がされています。

②瀬戸内海国立公園「太華山」の景観整備

平成26年度は、現状の問題点や整備について、地元と行政の情報共有を図り、美しい多島海景観の展望地として、より多くの方に親しまれるよう景観整備等を進めています。



【太華山からの夜景】

③瀬戸内海国立公園「太華山」の環境整備

平成26年8月4日には、自然公園クリーンデーに合わせ、櫛浜愛山会が中心となって地元住民に呼びかけ、中学生ボランティア、櫛浜コミュニティ推進協議会、櫛浜公民館とともにハイキング登山道の草刈りやゴミ拾いなどの環境整備を行いました。



【太華山での清掃活動】

④西緑地公園の維持管理

市街地に所在する西緑地公園は、旧京都大学演習林であった丘陵地が主体となった自然公園と植物園を兼ねた貴重な山林緑地で、公園愛護会等を中心に市民共有のみどりの財産として次の世代に引き継げるよう、除草、清掃、園路等の整備等、緑地の保全・活用に取り組んでいます。

⑤市民農園の貸付

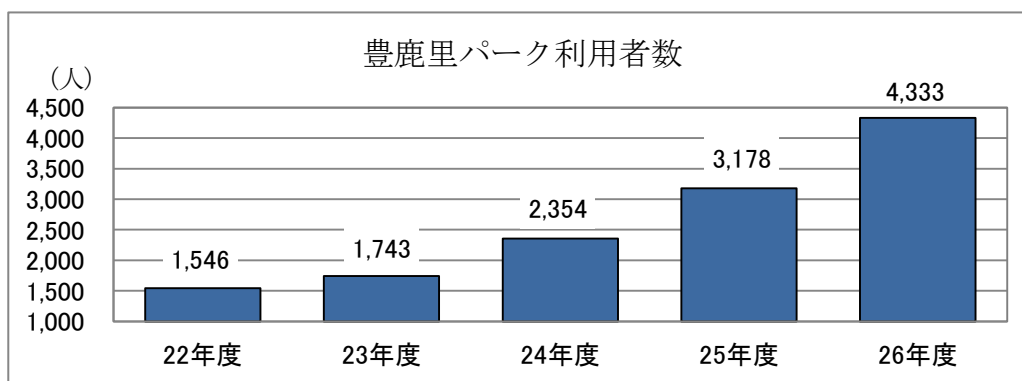
市内には7か所の市民農園があり、自然とのふれあいと農業に対する理解を深めることを目的として、110区画、3,850㎡の農地の貸付を募集しました。

(2) ふれあい活動の充実

①豊鹿里^{ゆかり}パークの利用状況

豊鹿里パークは、カルチャースクールやイベント会場として利用できる交流の施設です。年間を通じて農業体験や加工教室などのさまざまな体験プログラムが開催されています。クライנגルテン（農地付宿泊施設）や農地だけの「貸し農園」もあります。平成26年度は4,333人の利用がありました。

■豊鹿里パーク体験交流利用実績



《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》

●周南市環境基本計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
都市農村交流による体験者数	2,504 人	2,200 人

《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》

②水辺の教室

平成26年度は島地川、黒岩川で水辺の教室を開催しました。

参加者数は延べ133人で、指標生物の確認状況から判定する水質階級は、2ヶ所とも「きれいな水」に該当しました。

■水辺の教室開催状況 水生生物の調査結果

調 査 場 所 名			島地川（新平ヶ原公園）				黒岩川（黒岩峡）			
年　　月　　日			平成 26 年 7 月 30 日				平成 26 年 8 月 8 日			
主　　　　　　催			島地川ダム周辺環境整備地区管理協議会				教育委員会熊毛総合出張所 熊毛総合支所市民福祉課			
参加者数(主催者を含む。)			54 人				79 人			
天　　　　　　気			晴れ				曇り			
水　　質		指　標　生　物	見つかった指標生物の欄に○印を、数が多かった上位から2種類（最大3種類）に●印をつける。							
きれいな水	水質階級Ⅰ	1. アミカ								
		2. ウズムシ					○			
		3. カワゲラ	○				○			
		4. サワガニ	○				●			
		5. ナガレトビケラ	○				○			
		6. ヒラタカゲロウ	●				○			
		7. ブユ								
		8. ヘビトンボ	●				○			
		9. ヤマトビケラ	○							
少しきたない水	水質階級Ⅱ	1. イシマキガイ								
		2. オオシマトビケラ	○							
		3. カワニナ	○				○			
		4. ゲンジボタル	○							
		5. コオニヤンマ	○				○			
		6. コガタシマトビケラ	○							
		7. スジエビ								
		8. ヒラタドロムシ								
		9. ヤマトシジミ								
きたない水	水質階級Ⅲ	1. イソコツブムシ								
		2. タイコウチ								
		3. タニシ								
		4. ニホンドロソコエビ					○			
		5. ヒル					○			
		6. ミズカマキリ								
		7. ミズムシ								
大変きたない水	水質階級Ⅳ	1. アメリカザリガニ								
		2. エラミミズ								
		3. サカマキガイ								
		4. セスジユスリカ								
		5. チョウバエ								
水質階級の判定		水　　質　　階　　級	I	II	III	IV	I	II	III	IV
		1. ○印と●印の個数	6	5	0	0	6	2	2	0
		2. ●印の個数	2	0	0	0	1	0	0	0
		3. 合計（1.欄+2.欄）	8	5	0	0	7	2	2	0

③動物園でのふれあい活動

◆動物ふれあいプログラム

徳山動物園では平成 17 年度から「ズー夢アップ 21」事業を実施し、動物たちと入園者との距離を近づけ、動物園の魅力アップを目指す取組みを進めています。

平成 20 年度からは、ウサギなどの小動物へ手渡しでエサをあげたり、飼育係のレクチャーを聞いたりできる「ふれあいどうぶつの森」コーナーを平日にも開催し、動物と自然への関心を高める機会を提供しています。

また、夜間開園を開催することで、昼間に見ることのできない動物たちの行動を観察することができる場となっており、大人も子どもも動物たちをより身近に感じることができるようになっていきます。



【小動物とのふれあい】



【夜間開園の様子】

◆ TOKUYAMA ZOO CLASS

工作や体験と動物の観察を組み合わせた学習プログラムで毎月テーマを変えて実施しています。自然の営みを知り、環境問題を考える内容となっています。

◆周南ふれんZOO（ズー）の活動状況

「動物園学習支援ボランティア周南ふれんZOO」は、平成 16 年度に発足した学習活動のサポートを行うボランティアグループです。

平成 26 年度末現在、24 名の方が動物とのふれあい活動のサポートや工作イベントの企画・運営など多岐にわたり活躍されています。

また、プルタブ集めにより、平成 26 年度は 3 台のベンチを動物園に贈呈していただきました。



【ベンチ贈呈の様子】



【堆肥作りの様子】

《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》

◆希少動物の保護等

徳山動物園では、地域の身近な自然の保護の取組みとして地域の身近な生物の飼育展示を行うとともに、近隣地域で行われている野生ツキノワグマの学習放獣や、オオサンショウウオの保護などの取組みにも協力しています。

また、希少動物の保護を進めるため、徳山動物園ZOOストック計画を策定し保護繁殖の取組みを進めています。



【ツキノワグマの学習放獣】

学習放獣とは

捕獲されたクマを麻酔で眠らせた後、体重や体調などを計測・記録し、人里から離れた山奥に移動させます。麻酔が覚めた後、クマに人里に近づくことの怖さを学習させて山に放す取組みです。学習放獣されたクマの多くは、里に出てこなくなっています。

3 まちの景観や文化財の保全

目標：良好な景観や文化財を保全し、美しいまち並みを創出します。

(1) まちの景観の保全・形成

①景観計画・景観条例の施行

本市は平成21年3月30日に景観法に基づく景観行政団体の指定を受け、指針となる周南市景観計画を平成23年8月1日から施行しています。

また、良好な景観形成を目的として、周南市景観条例を平成24年4月1日から施行しています。



【周南市景観計画】

②景観届出の開始

景観法第16条及び周南市景観条例第13条に基づき、良好な景観の保全・創出を図るため、平成24年10月1日より市内全域を対象地域として景観届出が開始されています。

対象規模に該当する「建築物の建築等・工作物の建設等・開発行為等」を行う際は、届出が必要となります。

また、景観法第18条により、原則として届出を受理した日から30日を経過した後でなければ行為に着手できないことに規定されており、周南市景観計画に定める景観形成基準に適合するように求められています。

さらに「都心軸地区」、「鹿野地区」を「景観形成重点地区」として指定しています。

平成26年度は、総数で558件の届出を受理しています。

(2) 文化財の保存・活用

①文化財の保存活動

平成26年文化財防火デーに合わせて山田家本屋保存会、近隣住民が参加し、周南市西消防署西部出張所協力のもと、平成27年1月26日に県指定文化財「山田家本屋」（湯野）において消火訓練を実施しました。



【山田家本屋（県指定有形文化財）消火訓練】

②伝統文化活性化の支援

伝統文化の継承と地域の活性化を図るため、周南市に伝わる伝統文化の活性化及び復興等に取り組む団体に対し支援しています。

③周南市歴史博士検定

「周南市歴史博士検定」とは、周南市の歴史を広く、深く学ぶことにより、ふるさとを大切に想う気持ちを育み、まちづくりの意欲を高め、地域貢献への活力に繋がることを目指すものです。平成26年度は82人が受験し、47人の方が合格されました。

周南歴史博士検定 <http://www.city.shunan.lg.jp/hp/manabi/rekisi/1.htm>

4 身近な緑の保全・創出

目標：身近な緑を保全し、快適な緑地環境を創出します。

(1) 緑地・公園の整備

① 緑地・公園の計画的な整備

平成 20 年 6 月に策定した「周南市緑の基本計画」により、緑のまちづくりを推進しています。

② 公園の新設、公園内の整備事業の推進

平成 26 年度は、以下の公園の整備工事を実施しました。

◆ 永源山公園幼児広場整備（再整備）



【周南市緑の基本計画】

(2) 緑化の推進

① 花いっぱい運動の推進

◆ 花壇コンクール

各地域、学校及び職場で育てている優秀な花壇を表彰しています。

■ 平成 26 年度最優秀賞

部 門	花壇名	団体名
地域・職域・団体の部	上若自治会花壇	須々万上若自治会
学校の部	きさんこ花壇	岐山小学校

◆ 花苗配布

公民館等を通じて地域の花壇に配布しています。

◆ 花づくり講習会

花苗づくり・花壇づくりの講習会を公民館で開催しています。

② 花とみどりの地域リーダー養成講座開催

地域で緑や花に関する活動の中心的役割を担う地域リーダーを育成しています。

《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》